

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	へい獣保冷库運営事業			事業コード	0612
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	加藤 宏之	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 4目 へい獣保冷库運営事業 (004-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和58年度~)		
事務事業の概要	へい獣の適正な処理を行うため、岩手県へい獣処理協議会が管理するへい獣保冷库の管理運営経費を負担するもの。					
根拠法令等	岩手県央へい獣処理協議会規約					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和57年に死亡家畜の適正処理を目的に協議会が発足し、この事業がスタートした。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
環境問題に加え、平成15年度からBSEに係る死亡牛の全頭調査が行われたことから、死亡家畜をまとめて処理することは重要になっている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	岩手県央へい獣処理協議会 盛岡地域の牛、馬、豚の飼養農家	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 牛、馬、豚の飼養農家数	単	戸
				B.	単	
				C.	単	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 岩手県央へい獣処理協議会へ負担金を支出することにより、死亡家畜の適正処理を行った。同協議会は、盛岡市、雫石町、滝沢村の自治体及び農業協同組合で組織している。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  岩手県央へい獣処理協議会へ負担金を支出することにより、死亡家畜の適正処理を行う。同協議会は、盛岡市、雫石町、滝沢村の自治体及び農業協同組合で組織している。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 構成団体数	単	団体
				B.	単	
				C.	単	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	環境保全及び家畜防疫のため、死亡家畜を適正に処理することにより、畜産農家の健全経営に寄与する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 処理頭数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単	頭
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位: 人) 農業純生産額(単位: 百万円) 林業純生産額(単位: 百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	牛, 馬, 豚の飼養農家数	戸	171	177	180	175	180	180	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	構成団体数	団体	8	8	8	8	8	8	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	処理頭数	頭	150	14	120	35	120	120	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	324	224	199	199	110	110	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	324	224	199	199	110	110	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	324	224	199	199	110	110	*****
	延べ業務時間数	時間	10	10	10	10	10	10	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	40	40	40	40	40	40	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	364	264	239	239	150	150	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 環境保全や防疫面から死亡家畜は適正に処理されなければならない。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 経費削減のため、関係団体が経費を応分負担することは必要不可欠である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 飼養農家が対象になるため。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 死亡家畜の適正処理を目的としているため。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 現状の方法で適正に処理されている。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 個々の農家で対応できないため、経済的負担が増大する。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最小限の経費で運営されており、負担金の算定も決められた方法で行われている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 負担金を支出することが主な業務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 管内のすべての家畜飼養者が対象である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 利用者は利用料金を負担している。

